

利用成果報告書

- 1 課題番号 H28-K06
- 2 報告者 樋口秀男 東京大学大学院理学系研究科
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 脳がん幹細胞の腫瘍形成および治療抵抗性機能に関する研究
- 5 使用装置名 FACS Aria II セルソーター
- 6 利用期間 平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日
- 7 利用成果・実績の概要 生体内で脳がん幹細胞の腫瘍形成及び治療時の挙動を観察するために、脳がん幹細胞にレシオ計測用グルタチオンセンサーを遺伝子導入した。そして、ワンストップ創薬共用ファシリティセンターのセルソーターFACS Aria IIを用いて、グルタチオンセンサーを発現している細胞群の中で、特に輝度が高い細胞の選別を行った。その結果、ソーティング前に対して20-30%輝度が高い細胞を分離することができた。今後は、得られた細胞群を用いて、in vitroおよびin vivoにおいて、損傷時の細胞内のグルタチオンの酸化還元反応の計測を行う。
- 8 社会・経済への波及効果 本研究は、がん幹細胞の薬剤耐性機能を非侵襲かつ長期間観察するものであり、その機能をより詳細に理解することができる。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当なし
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当なし